

みんなで発見した「ファンタジー」をより楽しく読む方法

①ふしぎ(なぜ)・疑問を見つけて、解決しながら読む。

読書会で楽しく話し合えた話題(疑問)の例

なぜ、女の子はとつぜんすがたを消してしまったのか。

「よかったね。」
「よかったよ。」
…
は、だれが言っていたのか。

お母さんは、エプロンをつけたまま外に出て、はずかしくなかったのか。

②「自分の考え」と「そのしゅうじになる言葉や文」をしないで読む。
(ロジック・シリーを使って読んだり、話し合ったりする。)

あまんきみこさんの作品)「白いぼうし」のすてきなところと
どんなところに着目したらすてきさを感じるか
(すてきさを感じるきっかけとなった表現)

読んでいるときや、読んだ後の感じ

○ 登場人物

①ふしぎな気持ちになれる

・ふしぎな登場人物(何かが化けていぬ)が登場するところ

②「なんでだろう」となぜをききながら読める

・松井さんの人から「思いやりがある」(な)が、結末や話のてんかいにつながる

・松井さんならではの行動・ヒントがあるから
しゅうじ集めをして考えられるところ

③幸せな気持ちになれる
(あまきみこ)

○ 話のてんかい

④自分も「よかったな」と思える
(読む人が気持ちを重ねて読める)

・ふしぎな出来事がおこるきっかけがあるところ

・終わりがハッピーエンドなところ

⑤物語の世界に入ることが
(想像しやすい)

○ 使われている言葉

⑥頭のなかに景色がつかんだら、
「おいが思うところだ」

・松井さんへのプレゼントがあるところ
(「すてきな景色」など読んでいる人も楽しめる)

⑦ふしぎだけど、現実とあそび
じゆん

⑧楽しい気持ちになって読める

・ユーモア(だじゃれ・くりかえし言葉)